

# 款10 教育費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
10,367,605,000円	10,240,802,785円	98.8%	0円	126,802,215円

## 項1 教育総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,380,376,000円	2,318,559,852円	97.4%	0円	61,816,148円

### 目1 教育委員会費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
6,385,000円	6,275,988円	98.3%	0円	109,012円

#### (教育総務課)

目的	教育委員会議の開催と事務局運営				
指標	開催回数	目標	12回	実績	16回 (17年度 14回)
説明	委員会に属する事務を適正に管理、執行し、本市における教育振興を図るため、教育委員会議を16回開催し、重点施策及び条例規則の改正の審議等を行い適正な会議運営に努めました。また、本市教育の重要課題や懸案事項等に対する認識を深めるため、関係者を交えた議論の場として教育懇談会を9回開催し、教育現場の実態把握や意思疎通の向上を図り本市教育施策の充実に努めました。				

〔委員報酬〕 5,307,599円

・教育委員会委員 委員長 1人 委員 3人

〔交際費〕 34,209円

#### その他経費

〔負担金〕 934,180円

・三重県市町村教育委員会連絡協議会 386,880円

・三重県都市教育長会 59,000円

・全国都市教育長会等 58,000円

・三重県公立学校施設整備期成会等負担金 361,000円

〔一般経費〕 69,300円

### 目2 事務局費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,142,559,000円	1,139,740,748円	99.8%	0円	2,818,252円

〔一般職給〕 71人 689,238,073円

〔嘱託職給〕 8人 26,924,279円

#### (教育総務課)

〔退職手当〕 248,403,148円

〔公務災害補償費〕 7,832円

〔事務局管理運営費〕 3,239,482円

・職員健康管理費

#### (学校教育課)

〔公務災害補償費〕 1,242,231円

### その他経費

〔学校施設整備基金積立金〕	100,249,424円	（その他特財	249,424円）
〔事務局管理運営費〕	61,834,329円		
・合併に伴う教育制度検討事業費	358,888円		
・学校規模等適正化検討事業費	308,100円		
・職員研修費	386,200円		
・一般経費（長欠等代替臨時職員賃金等）	60,781,141円	（その他特財	836,021円）

### 目3 教育振興費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
968,365,000円	955,114,391円	98.6%	0円	13,250,609円

#### （教育総務課）

〔コミュニティスクール調査研究事業費〕	790,397円
〔奨学資金〕	10,728,522円

目的	私立学校の教育条件の維持向上及び経営の健全化の支援				
指標	対象学校数、対象生徒数	目標	8校 2,600人 15園 延べ6,100人	実績	8校 2,686人 (17年度 8校 2,728人) 15園 延べ6,537人 (17年度15園 延べ6,306人)
	1人当たりの補助額		1人当たりの補助額の拡大		7,893円 (17年度 7,263円)
説明	私立学校（市内6校、市外2校、市内15幼稚園）の運営費等を補助することで教育条件の維持向上及び経営の健全化を支援するとともに、市内の私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、保育料を補助することで、保護者の経済的負担の軽減と、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図りました。				

〔私立学校等振興助成費〕	46,589,780円
・私立学校等運営費補助金	12,207,950円
・私立幼稚園運営費補助金	9,779,530円
・私立幼稚園補助金（自動体外式除細動器購入）	2,727,900円
・私立幼稚園教員研修費補助金	1,960,000円
・私立幼稚園保育料補助金	19,914,400円

#### （指導課）

目的	小中学校教育の充実				
指標	指導要録の各教科の評定結果	目標	「おおむね満足できる」以上 平均82%	実績	「おおむね満足できる」以上 平均82.4% (17年度 81.6%)
説明	<p>確かな学力の基盤となる基礎学力定着・向上をめざして、到達度検査の結果分析から、教科の指導法や教科・校種を超えた課題について、具体的な克服方法の提言をしてきました。この取組の継続によって、四日市市の子どもの学力は全国平均もしくは平均以上であり、特に英語については外国人英語指導員の派遣とともに、指導法の改善等により「十分満足できる」以上が85%以上の高水準を維持しています。小・中学校への司書派遣は、図書環境の整備とともに子どもの読書及び調べる学習への支援を一層充実させ、学校図書館の活性化につながっています。各校の学校づくりビジョンの実現に向けた教育活動や研修活動は、学校づくりビジョン推進事業によって充実が図られ、各校の課題に応じた取組を進めることができました。</p> <p>このような学習活動の充実をめざした取組によって、学校教育活動への保護者や子どもの満足度（子ども・保護者評価による）が高まりつつあり、全教科の評定結果の「おおむね満足できる」以上の平均も目標に達しています。（前年度比0.8ポイント高）各学校は学校評価等によるPDCAによる改善活動に取組んでおり、一層このことを進めることにより子どもの学力向上を図り、実績値の向上に努めます。</p> <p>また、学びの一体化の推進は、3年間に進めてきた4モデル中学校区での調査研究を活かして、市内全中学校区で取り組みを始めました。この取り組みにおいて、各校の情報交換や校区の教育課題の共通理解が図られつつあり、今後、確かな学力を共通課題としながら各中学校区の実情に応じた取組の充実を目指します。</p>				

- 〔委員報酬〕 229,500円
  - ・障害児就学指導委員会委員 3人分 5回開催
- 〔児童生徒指導事業費〕 9,330,497円
  - ・環境教育推進事業費 427,875円
    - 小学4年用環境学習資料「くらしと水」「くらしとごみ」各3,500冊印刷
  - ・文化部活動奨励費補助金 732,138円
    - 補助件数2件 第49回中部日本吹奏楽コンクール本大会他1件
  - ・自分発見中学生・地域ふれあい事業費 2,000,000円（県支出金 1,000,000円）
    - 県委託事業による職場体験活動（13中学校・50学級で実施）
  - ・基礎学力定着向上事業費 6,170,484円（県支出金 2,056,000円）
    - 小学5年生と中学2年生を対象に到達度検査を実施
    - 小学5年生（国語・算数） 中学2年生（国語・社会・数学・理科・英語）
- 〔学校図書館いきいき推進事業費〕 39,460,497円
  - 全市立小中学校62校に司書を派遣し、学校図書館を活性化させ、子どもたちの読書活動や学習活動を支援 1校当たり週1回程度 1回6時間 年38回
- 〔学校づくりビジョン推進事業費〕 24,673,050円
  - 「学校づくりビジョン」の実現に向けた教育活動や研修等の取り組みにかかる費用を支援
  - 全市立小中学校62校 1校当たり270,000円～495,000円
- 〔学校英語教育充実事業費〕 73,639,827円（その他特財 7,135,323円）
  - 英語教育の向上・充実を図るため米国ロングビーチ市などから11人の英語指導員を招致し、中学校を中心に派遣 小学校については民間委託により7人の英語指導員を派遣し1・2年生で年5時間程度、3年生以上で年10時間程度の英語活動を実施
- 〔教職員研修費〕 224,286円
  - 幼稚園新規採用教員及び教職経験10年教員研修旅費他
- 〔大規模校支援事業費〕 2,200,800円
  - 小学校2校 中学校2校に図書館司書を配置 1校当たり週1回程度 1回6時間 年40回
- 〔学びの一体化推進事業費〕 747,089円
  - 小・中学校が情報交換や授業研究等、これまで以上に連携を強め、教育活動の連続性を図ることに  
より、確かな学力・豊かな人間性の育成を目指した活動を推進
- 〔自然教室事業費〕 21,251,088円
  - 小学校 1泊2日 中学校 2泊3日
  - 参加児童生徒数 小学校2,986人（5年生）中学校2,652人（1年生または2年生）
  - バス借上げ料 宿泊費等施設使用料他
- 〔障害児学級費〕 291,350円
  - ・障害児学級連合合宿費 1泊2日
  - 市内障害児学級の中学生 50人参加 バス借上料 宿泊施設使用料他

目的	生徒指導の充実				
指標	問題行動・不登校児童生徒数	目標	130件・276人	実績	254件・328人 (17年度141件・286人)
説明	<p>問題行動件数には、いじめ件数（17年度：36件、18年度：163件）を含んでおり、いじめ問題が社会問題ともなる中、平成18年度は、それまでのいじめ調査の基準を変更して行ったことから、大幅増となっています。実態の一層の把握に努めるとともに、各校の生徒指導や教育相談等の取組の強化を継続して進める必要があります。</p> <p>不登校児童生徒数（328人）は前年度比15%増となりました。これは主に中学生によるものです。不登校になるきっかけは、本人の不安や緊張等「本人に関わる問題」「友人関係をめぐる問題」が多く、また、継続する理由としては、「無気力」「不安など情緒的混乱」が多く上げられています。このことに留意して、各学校の生徒指導体制や教育相談の充実、専門カウンセラーの活用による心のケア、家庭や関係機関との連携等が重要と考え、その取組を進めているところですが、併せて、Q U調査の活用等未然防止に向けた取組の一層の充実が必要です。</p> <p>日本語指導の必要な外国人児童生徒は、年々増加傾向を示し、平成18年度は80人以上の増加がありました。平成18年10月には、日本語がほとんどわからない子どもに対して、日本語の初期指導や学校への適応指導を行う初期適応指導教室を笹川西小学校に開設したところです。このシステムは現状において、効果的なシステムであると考えます。</p> <p>日本語指導の必要な児童・生徒の在籍の校数・人数の増加に伴い、適応指導員の派遣時数を増やしていますが、不十分な状況であり、今後増加状況を注視しながら現システムの検討を続け、対応策を講じる必要があります。</p>				

- 〔児童生徒指導事業費〕 52,377,377円
- ・教育相談事業費 11,626,000円（県支出金 592,000円）
    - ハートサポーター 5人 要請により学校・幼稚園へ派遣 回数延べ42回
    - 心の教室相談員 小学校8校に配置 1校当たり週2～3回 1日3～4時間 年間228時間
    - スクールカウンセラー 中学校6校 小学校3校に配置 1校当たり週8時間程度 年間224時間
  - ・生徒指導対策事業費 7,794,500円
    - 暴力行為やいじめ等の問題行動等の解決に向けての家庭訪問、校外補導、地域連携会議を支援
    - 家庭訪問 8,680件 地域連携業務 4,904件 学校警備 101件
    - すこやか協力者会議 194回
  - ・不登校対策事業費 1,600,000円
    - 小学校13校 中学校18校 家庭訪問業務 3,721件
  - ・来日外国人園児児童生徒教育充実事業費 28,156,877円
    - 適応指導員派遣経費（9609時間） 23,409,167円
    - 日本語がほとんどわからない外国人児童生徒のための初期適応指導教室（いずみ教室）
    - 開設費用 備品購入費 パンフレット印刷等 511,352円
    - 運営経費 賃金3人分 電話代 消耗品費等（10月～3月分） 4,236,358円
  - ・外国人児童生徒サポート事業費 1,000,000円（県支出金 1,000,000円）
    - ことばの教室等へサポート協力員を派遣 延べ459時間 高校進学ガイダンス開催
  - ・子どもと親の相談員活用調査研究委託事業費 700,000円（県支出金 700,000円）
    - 相談員を配置 小学校2校 延べ700時間
  - ・保護者・地域の活動ステージ整備事業費 1,500,000円（県支出金 1,500,000円）
    - 小学校5校 1校当たり300,000円

目的	幼稚園教育を充実する				
指標	保護者の保育に対する信頼度	目標	「信頼できる保育」90%	実績	信頼できる保育 93% (17年度 89%)
説明	園づくり活動指導員の配置や研修講師の派遣等の支援をしたことから、園の活動及び子育て支援活動（遊び会）の充実が図られ、保護者の満足度は、前年度調査より4ポイント高くなり目標を達成しています。園自己評価（保護者等評価）で園の保育・経営の課題を明確にして、さらに信頼の得られる保育に努めます。また、就学前と小学校の連携を図る取組を育ちのリレー事業のモデル地区の実践を生かしながら進めていきたいと考えています。園開放については、参加者が17,189組（前年比3.1%増）、子育て相談が721件（前年比25%増）と増加するなど、この取組へのニーズは一層高まっており、地域の子育てセンターとしての役割が大きくなってきています。また、地域が主体となる子育て支援活動は、前年度に引き続き2地域で実施されました。				

- 〔子育て支援推進事業費〕 3,912,860円
- ・園づくり支援事業費 2,302,860円
    - 幼稚園に園づくり活動指導員を配置 1園当り 1回2時間 週2回程度
    - 遊び会参加人数 17,189人 相談件数 721件
  - ・子育て支援運営費補助金 1,360,000円
    - 市民活動団体による子育て支援活動に対する補助 2ヶ所
  - ・育ちのリレー推進事業費 250,000円(県支出金 250,000円)
    - 就学前から小学校までの学びの連続性を考慮した教育の充実を図るための研究事業 1小学校区

### その他経費

- 〔負担金〕
- ・三泗教育発表振興会 2,673,000円
- 〔一般経費〕
- ・教育振興一般経費 9,806,882円
    - 社会科副読本「のびゆく四日市」の印刷配付他

**(学校教育課)**

目的	基礎学力の充実(市単独事業による講師採用の充実)				
指標	講師による授業時間数	目標	82,000時間	実績	77,044時間 (17年度79,813時間)
説明	<p>小学校では国語・算数、中学校では数学・英語を中心に基礎学力の向上ときめ細やかな学習指導を図ることを目的として平成14年度から開始した事業で、多人数学級がある学校、学級数の多い学校に対して講師を配置しました。</p> <p>16年度から飛躍的に授業時間数が伸び、授業態度に落ち着きが見られるなど、学習環境の改善が図られ、その成果が着実に上がっています。18年度には新たに講師の教育力を向上させるために、アドバイザー制度を導入し、指導者の力量も一層高まっています。</p> <p>ただし、毎年の学級数の変動や少人数化(学級の分割)の方法によって、講師の必要数が変化することから、指標としての目標値の設定については今後検討する必要があります。</p>				

〔基礎学力充実教員加配事業〕 200,546,412円

**その他経費**

〔学校図書館システム事業費〕	147,000円
〔保健給食費〕	14,485,435円
・保健給食研修費	225,882円
・環境衛生検査室管理費	216,428円
・四日市学校保健会補助金	438,000円
・楠学校給食共同調理場管理運営費	13,605,125円
〔負担金〕	673,300円
・三重県特殊教育振興会等	

**(人権・同和教育課)**

目的	学校人権教育の推進充実を図る				
指標	学校人権教育リーダーの登録者 人員(18・19年度累積人数)	目標	62人	実績	31人(18年度実績)
説明	<p>連続講座によるリーダー育成研修を実施し、指導者の育成を図りました。19年度に対象者へのフォローアップ研修会を実施し、人権教育に関する研修会等の講師・助言者として本課人材バンクに登録します。また、人権教育推進校を中心に学習プログラムに関する研究を進めました。19年度にその成果を公開授業及び研究冊子により市内の全校園に公開し、活用を図ります。さらに、中学校ブロックにおいて、幼・小・中の連携のもと、合同研修会や情報交換会、子ども人権フォーラム等を実施し、各校園における児童生徒及び教職員の人権感覚や実践力の向上を図りました。</p>				

〔人権教育指導者・リーダー育成充実事業費〕 5,764,138円

- ・学校人権教育リーダー育成事業費 1,637,138円
- 学校人権教育リーダー育成研修事業 537,138円
- 3 1小中学校の人権教育担当教員各1名に4回連続講座を実施
- 中学校区子ども人権フォーラム事業 1,100,000円
- 小中学校代表児童生徒による「子ども人権フォーラム」を2 2中学校ブロックで開催
- ・学校人権教育推進事業費 2,968,000円
- 人権教育推進校園委託 900,000円
- 2 幼稚園・3 小学校・4 中学校が人権教育カリキュラム・学習プログラムの研究を実施
- 中学校ブロック人権教育充実委託 2,068,000円
- 「人権教育推進校区連絡協議会」を2 2中学校ブロックに組織し、各校園の情報交換及び合同研修会等を実施
- ・人権教育ピーコンスクール事業費 1,159,000円 (県支出金 1,159,000円)
- 県委託事業(1校) 地域で「子ども人権ネットワーク」を構築し、実践を県内に発信

目的	地域の児童・生徒の自主自立を支援する				
指標	キッズ・ホリデースクール実施 回数	目標	65回	実績	102回 (17年度 64回)
説明	<p>5 地区にある「子ども人権文化育成協議会」に事業を委託し、地域人権教育推進として、地域の子どもたちへの人権学習、進路相談、言語習得活動等を中心に、地域の指導者の参加も得ながら、人権尊重の心と実践力が育まれるよう取り組みが進められました。また、キッズ・ホリデースクール、子ども人権活動地域支援では、地元のボランティアの協力を得ながら、文化活動・スポーツ・レクリエーション等、子どもたちの意欲を引き出すさまざまな活動を創意工夫しながら実施することができました。</p>				

〔子ども人権文化創造事業費〕	5,400,000円
・子ども人権文化創造事業委託費	
地域人権教育推進	3,430,000円
人権学習会・クラブ活動等実施(5地区)	計757回、指導者延べ人数 3543人
キッズ・ホリデースクール	800,000円
文化・スポーツ・レクリエーション活動実施(4地区)	計102回、指導者延べ人数 274人
子ども人権活動地域支援	1,170,000円
児童集会所開放実施 265回(4地区平均)、支援者(ボランティア)延べ人数 441人	

**その他経費**

〔人権教育学習機会提供・充実事業費〕(研修派遣、ポスター・カレンダー、作文集)	2,984,008円
〔人権教育・学習環境整備事業費〕(学校人権教育の手引き・人権学習教材・パソコン使用料他)	1,083,988円
〔自主人権活動支援・充実事業費〕(四日市人権・同和教育研究会運営費補助金)	1,260,000円

**(教育センター)**

〔学校図書館ネットワーク事業費〕	6,289,185円
------------------	------------

**(政策課)**

〔看護系大学設立支援事業費〕	400,000,000円
〔四日市看護医療大学奨学資金〕	14,310,000円

**目4 教育・視聴覚センター費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
263,067,000円	217,428,725円	82.7%	0円	45,638,275円

**(教育センター)**

目的	情報教育の推進				
指標	教職員へのパソコンの活用に関するアンケートによるプラス評価	目標	満足度 80%	実績	満足度 80% (17年度 80%)
説明	情報教育と、教科学習・校務でのより一層の活用を推進するために、小・中学校オフィスソフトの契約更新、小学校の環境復元ソフトの更新等の情報環境の整備を図りました。また、授業支援、ホームページ更新支援等の体制の整備、教職員研修等の充実に伴って学校での情報教育の推進を図った結果、満足度は目標を達成することができました。引き続き情報教育の推進に努めます。				

〔教育情報通信システム運営費〕	186,258,734円
-----------------	--------------

目的	学校・園での生活に不応を起こしている子ども並びに障害のある子どもに対する支援				
指標	教育相談を実施した保護者へのアンケートによるプラス評価	目標	満足度 85%	実績	満足度 86% (17年度 85%)
説明	平成18年度も引き続き、学校・園・保護者からの要請に応じて教育相談活動を実施しました。本年度は「障害のある子どものための教育相談事業」において、モデル地区3地区を全市に広げて相談支援体制を充実させました。子どもの状態に応じて学校や専門機関、医療機関と連携を図りながら相談支援を行った結果、目標の満足度を達成することができました。今後も関係機関と連携を図りながら相談支援体制の充実に努めます。				

〔教育センター事業費〕	6,307,869円
・教育相談事業費	

相談件数等			関係機関との連携件数	
来所相談件数	相談延回数	訪問相談件数	相談機関	医療機関
300件	2141回	404件	8件	10件

目的	教職員の多様なニーズと課題解決のための研修を推進				
指標	研修会に参加した教職員へのアンケートによるプラス評価	目標	満足度 90%	実績	満足度 94% (17年度 92%)
説明	平成18年度は、中核市への移行を見据え、本市の教育課題に即した特色ある研修事業として再構築し、基本研修（「基礎研修」「職能研修」）、専門研修（「教科等に関する研修」「領域等に関する研修」「重点教育課題研修」「カリキュラム研修」「ステップアップ研修」）、特別研修等に分類して、計109講座164日の研修を実施し、研修参加者は8,161人となりました。 また、実践的指導力の向上を目指して連続講座、実技・演習型、参加・体験型の研修会を数多く設定したため、研修会参加者に対するアンケート調査の結果における満足度も上昇して94%となり、目標を達成することができました。				

〔教育センター事業費〕 4,518,838円  
 ・教職員研修費（講師報償費、先進校派遣、使用料） 3,953,838円  
 ・三泗乳幼児教育研修事業費 565,000円（その他特財 125,000円）

目的	学校・園における教育課題解決のための研究を推進				
指標	課題研究に対する教職員へのアンケートによるプラス評価	目標	満足度 85%	実績	満足度 84% (17年度 82%)
説明	国立教育政策研究所の指導・助言を受け、「生徒用 인권教育教材の活用」「センター研修の在り方」「英語活動」「教育評価」「情報モラル教育」「特別支援教育」「不登校児童生徒の支援」等について8本の今日的な教育課題研究に取り組み、研究成果を関係機関に配布しました。これらの課題研究に対する教職員へのアンケートによる満足度は、昨年度より上昇し84%となりましたが、目標をわずかながら達成できませんでした。今後も、研究の継続と発展及び研究と研修の一体化を図るため、引き続き、 인권・同和教育、研修効果、教育評価、情報教育、学びの一体化、特別支援、不登校児童生徒への支援等に関する研究を行い、今日的な教育課題解決のための研究推進を図るとともに目標85%以上にむけて努力します。				

〔教育センター嘱託研究事業費〕 162,000円  
 〔教育センター事業費〕 1,859,773円  
 ・教育課題等研究調査費 613,706円  
 ・教職員研修費（嘱託研究校・園事業費） 1,246,067円  
 〔視聴覚ライブラリー事業費〕 3,292,089円（その他特財 654,000円）  
 〔視聴覚センター事業費〕 603,280円  
 生涯学習や学校教育の効果的な活動を支援するため、液晶ビデオプロジェクター、教材用ビデオテープ、16ミリフィルム等の視聴覚機器・教材の整備を行いました。また、市民の生涯学習に寄与できる実技講習会を実施するとともに、映画鑑賞会「親子の映画会」を年7回実施し、延べ683人が参加しました。

区分	保有数		利用状況			
	購入数	保有総数	学校教育	社会教育	その他	計
16ミリフィルム	0	1206	22	29	20	71
ビデオテープ	34	1505	330	197	197	724

区分	保有総数	利用回数	利用日数
16ミリ映写機	3	8	38
液晶プロジェクター	7	261	822
スライド映写機	2	3	14

#### 実技講習会実施状況及び応募状況

講習会名称	ビデオ撮影	ワード入門	ワード基礎	エクセル入門	エクセル基礎	パソコン入門
講習会開催回数	2回	1回	2回	1回	2回	2回
定員	20人	40人	80人	40人	80人	80人
応募数	22人	97人	135人	145人	217人	252人

〔適応指導教室事業費〕 9,795,989円 (その他特財 359,450円)  
 ・第1適応指導教室 6,255,586円 (県支出金 1,700,000円)  
 ・第2適応指導教室 3,540,403円

〔不登校児童生徒支援ボランティア事業費〕 694,450円

引きこもりがちな不登校児童生徒に対し、「兄・姉」に相当する世代で教育・福祉に熱意と情熱のある学生をボランティアとして家庭や適応指導教室に派遣し、児童生徒とのふれあいを通して、良き相談者としての関係を作るとともに、自立に向けた支援活動を行いました。

開級日数	通級生 58人					
	復帰	進学	就職	再相談	再入級	その他
201日	5人	18人	1人	2人	29人	3人

#### 家庭派遣状況

派遣件数	派遣回数	学校復帰	進学
6件	44回	2人	1人

#### ふれあいフレンド活動支援状況

活動内容	参加人数	活動回数
学習支援	132人	131回
体験活動支援	62人	62回

#### その他経費

〔負担金〕 1,147,000円  
 ・三泗教育研修運営委員会 1,100,000円  
 ・全国教育研究所連盟等 47,000円

## 項2 小学校費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
3,436,487,000円	3,421,365,029円	99.6%	0円	15,121,971円

### 目1 学校管理費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,641,459,000円	1,631,231,850円	99.4%	0円	10,227,150円

〔一般職給〕 67人 471,528,000円  
 〔再任用職給〕 1人 5,085,795円  
 〔嘱託職給〕 37人 122,088,585円

#### (教育総務課)

〔学校管理運営費〕 159,636,650円  
 ・一般管理運営費(事務補助及び給食調理員賃金等)

#### (学校教育課)

目的	健康診断の充実				
指標	受診率	目標	100%	実績	99.9% (17年度99.9%)
説明	健康診断については、学校保健法に基づく心臓、検便、検尿等、毎年学校医、歯科医等の検診により、児童の健康維持、管理に努めています。18年度の受診率は99.9%となっており、今後ともほぼ100%の受診率を確保することで児童の健康維持、管理に努めます。				

〔非常勤職員報酬〕 47,903,160円  
 ・校医 50人 24,645,320円  
 ・歯科医 50人 19,064,240円  
 ・薬剤師 40人 4,193,600円  
 〔学校保健衛生管理費〕 34,944,152円  
 ・児童健康診断費



目的	安全で安価な給食の提供				
指標	一食あたり人件費	目標	190円	実績	198円 (17年度 197円)
説明	安全で安心できる学校給食を提供するため、調理員への衛生指導や研修会等を定期的 に実施するほか、学校訪問による給食指導を行いました。また、食材の選定や発注を担う 給食協会に対しては、サンプル検討会等を実施し、給食の質の確保に努めました。なか よし給食の維持とともに、調理業務の民間委託化を図るなど効率化を目指していきま す。				

〔学校給食管理運営費〕	73,347,244円
・学校給食業務運営費	18,159,044円
・なかよし給食事業費	8,448,933円
・給食従事者健康診断費	1,191,853円
・一般管理運営費（消耗品、ガス等）	45,547,414円
〔学校管理備品整備費〕	10,947,720円
・一般給食備品（給食室備品）	

### その他経費

〔学校管理運営費〕	336,405,160円	
・一般管理運営費		
光熱水費等経常経費		
〔学校管理備品整備費〕	22,457,962円	
・一般備品整備費（印刷機、キャビネット等管理備品費）		
	21,482,040円	
・一般保健室備品	975,922円	
〔学校保健衛生管理費〕	22,831,828円	
・教職員健康診断費	3,843,505円	
・一般管理運営費（保健用消耗品、災害共済給付金等）	18,988,323円	（その他特財 10,998,228円）
〔負担金〕	20,812,819円	
・学校災害賠償補償保険料等	1,690,214円	
・日本スポーツ振興センター共済掛金	17,173,065円	（その他特財 7,741,800円）
・三重県学校保健会	275,940円	
・全国連合小学校長会等	1,673,600円	

### （教育施設課）

目的	施設の適正な維持管理・補修				
指標	緊急工事率	目標	20%以下	実績	25% (17年度 25%)
説明	施設の維持管理については、適切な維持管理補修等を十分行うことで、「緊急工事」の 発生を少しでも抑えることができることから、施設の保守点検、清掃管理等を定期的 に行うとともに、適切な補修改修を計画的に施工するなど施設設備の適正な維持管理整備 に努めました。しかし、老朽化が進むなか、施設設備の全面更新は予算的にもなかなか 困難であり、全体の工事件数が伸びないこともあり、緊急工事件数としては昨年度より 減少したものの、目標値どおりには減少させることができませんでした。今後、優先度 等を勘案しながら予算の効率運用に心がけ、適正維持管理の執行に努めます。				

〔学校管理運営費〕	256,933,728円
・施設維持管理費	78,224,612円
・施設補修費	163,447,937円
・PFI学校施設管理費	15,261,179円

〔通学路交通安全施設整備事業費〕	28,601,170円
------------------	-------------

### その他経費

〔学校管理運営費〕	17,707,877円	（その他特財 1,355,810円）
・一般管理運営費（土地使用料等）		

## 目2 教育振興費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
201,474,000円	200,313,828円	99.4%	0円	1,160,172円

### (学校教育課)

目的	特別支援学級の介助員の充実				
指標	介助員の人数	目標	72人	実績	79人 (17年度 74人)
説明	多動性の情緒障害児、肢体不自由児など細やかな対応・支援等が要求される特別支援学級に対して介助員を配し、特別支援教育の充実を図りました。今後も対応が必要になる児童が増加している状況をふまえ介助員の適切な配置に努めていきます。				

〔特別支援学級児童介助費〕 74,650,225円

目的	学校図書館の整備				
指標	学校図書館 図書標準達成校	目標	13校	実績	10校 (17年度6校)
説明	学校図書について、本市は平成13年度から15年度に文部科学省の「学校図書館資源共有型モデル地域事業」の指定を受け、市内の学校図書館のネットワークシステムの整備を行いました。このシステム整備にあたり学校図書の登録管理を更新する際、使用に耐えない古い書籍等を処分したため、一時的に学校図書館図書標準に対する整備率が低下することになりましたが、今後も蔵書の充実に取り組んでいきます。 「学校図書館図書標準」:学級数に応じて整備すべき蔵書の標準として国が定めたもの				

〔学校図書館図書整備事業費〕 16,868,670円

### その他経費

〔教材・教具整備費〕 1,667,112円 (国庫支出金 666,000円)  
 〔要保護準要保護児童就学援助費〕 101,292,802円 (国庫支出金 620,563円)  
 〔障害児教育就学奨励費〕 5,835,019円 (国庫支出金 1,853,358円)

## 目3 学校建設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,593,554,000円	1,589,819,351円	99.8%	0円	3,734,649円

### (教育施設課)

目的	学校施設の充実				
指標	(校舎増築) 整備校数	目標	増築工事2校 建物リース3校	実績	増築工事2校 建物リース3校 (17年度建物リース2校)
説明	【校舎増築】教室不足の海蔵小学校及び常磐小学校については、増築工事を施工するとともに、仮設校舎のリースを継続し増築工事完成までの対応をしました。また、泊山小学校については教室不足の当面の対応として17年度末から仮設校舎のリースを行っております。				

〔校舎増築事業費〕 468,614,265円 (国庫支出金 101,719,000円  
市債 158,000,000円)

目的	学校施設環境向上				
指標	(校舎改築) 整備校数	目標	2校	実績	2校 (17年度1校)
説明	【校舎改築】富田小学校について平成17年度にPFI事業により老朽化校舎の改築工事に着手し、18年度に完成しました。また、楠小学校について、18年度に老朽化校舎の改築工事に着手し、19年度に完成予定です。				

〔PFI学校施設整備費〕	426,619,711円	〔 国庫支出金 137,293,000円 県支出金 2,428,000円 市債 204,700,000円 その他特財 500,000円 〕
〔楠小学校改築事業費〕	498,602,600円	

目的	安全・安心の施設整備			
指標	整備率	目標	(給食室改修) 78% (バリアフリー化整備) 87%	実績 78% (17年度 72%) 87% (17年度 82%)
説明	<p>【給食室改修】学校給食の安全のため、区域差別化のための間仕切、床排水の改修、食品庫改修、配膳室の空調設置等の工事を羽津北小学校にて施工しました。また、富田小学校についてはPFI事業による改築工事により給食室の整備も行いました。これにより、衛生管理強化改修整備率を72%から78%にし目標どおり執行しました。</p> <p>【バリアフリー化整備】身障者、健常者が共に学べ、円滑に学校生活を送れる環境づくりのため、身障者用トイレ設置、階段・廊下手摺の設置、出入口段差解消スロープの設置等の工事を三浜小学校、四郷小学校、八郷西小学校にて施工し、整備率を82%から87%に引き上げ計画どおり執行しました。</p>			

〔給食室改修費〕	29,886,675円	(市債 18,500,000円)
〔バリアフリー化施設整備費〕	72,238,950円	〔 国庫支出金 6,402,000円 市債 48,700,000円 〕

#### その他経費

〔その他施設整備費〕	78,467,403円	〔 国庫支出金 2,404,000円 市債 17,100,000円 〕
・大矢知興譲小学校多目的教室増築工事	24,978,450円	
・八郷西小学校運動場整備工事	12,196,800円	
・海蔵小学校公共下水道接続工事(機械設備)	5,108,250円	
・県小学校正門改修工事	4,229,400円	
・その他	31,954,503円	
〔校舎等譲受費〕	9,529,620円	
〔事業事務費〕	5,860,127円	
・一般職給 1人	2,717,329円	
・その他事務費	3,142,798円	

### 項3 中学校費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,682,859,000円	1,671,846,258円	99.3%	0円	11,012,742円

#### 目1 学校管理費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
589,650,000円	579,622,725円	98.3%	0円	10,027,275円

〔嘱託職給〕 18人 58,890,353円

#### (教育総務課)

〔学校管理運営費〕 11,441,908円  
・一般管理運営費(事務補助及び用務員賃金等)

**(学校教育課)**

目的	健康診断の実施				
指標	受診率	目標	100%	実績	99.9% (17年度 99.5%)
説明	健康診断については、学校保健法に基づく心臓、検便、検尿等、毎年学校医、歯科医等の検診により、生徒の健康維持、管理に努めています。18年度の受診率は99.9%となっており、今後ともほぼ100%の受診率を確保することで生徒の健康維持、管理に努めます。				

〔非常勤職員報酬〕	22,905,900円
・校医 24人	11,682,300円
・歯科医 24人	9,054,000円
・薬剤師 22人	2,169,600円
〔学校保健衛生管理費〕	16,001,864円
・生徒健康診断費	

**その他経費**

〔学校管理運営費〕	213,470,083円
・一般管理運営費	
光熱水費等経常経費	
〔学校管理備品整備費〕	15,808,935円
・一般備品（印刷機、プログラムチャイム等管理備品費）	15,279,105円
・一般保健室備品	529,830円
〔学校保健衛生管理費〕	19,309,135円
・教職員健康診断費	2,411,084円
・一般管理運営費（保健用消耗品、災害共済給付金等）	16,898,051円（その他特財 13,963,452円）
〔学校給食管理運営費〕	152,796円
・一般管理運営費	
〔負担金〕	9,845,079円
・学校災害賠償補償保険料等	776,699円
・日本スポーツ振興センター共済掛金	7,996,750円（その他特財 3,565,920円）
・三重県学校保健会	129,150円
・全日本中学校長会等	942,480円

**(教育施設課)**

目的	教育施設の適正な維持管理・補修				
指標	緊急工事率	目標	23%以下	実績	31% (17年度 25%)
説明	施設の維持管理については、適切な維持管理補修等を十分行うことで、「緊急工事」の発生を少しでも抑えることができることから、施設の保守点検、清掃管理等を定期的に行うとともに、適切な補修改修を計画的に施工するなど施設設備の適正な維持管理整備に努めました。しかし、老朽化が進むなか、施設設備の全面更新は予算的にもなかなか困難であり、指標は17年度実績より増加する結果となり、目標を達成することができませんでした。今後、優先度等を勘案しながら予算の効率運用に心がけ、適正維持管理の執行に努めます。				

〔学校管理運営費〕	203,510,702円
・施設維持管理費	40,826,209円
・施設補修費	118,476,753円
・PFI学校施設管理費	44,207,740円

**その他経費**

〔学校管理運営費〕	8,285,970円（その他特財 228,985円）
・一般管理運営費（土地使用料）	

## 目2 教育振興費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
94,363,000円	93,695,991円	99.3%	0円	667,009円

### (学校教育課)

目的	特別支援学級の介助員の充実				
指標	介助員の人数	目標	23人	実績	22人 (17年度 22人)
説明	多動性の情緒障害児、肢体不自由児など細やかな対応、支援等が要求される特別支援学級に対して介助員を配し、特別支援教育の充実を図りました。今後も対応が必要になる児童が増加している状況をふまえ介助員の適切な配置に努めていきます。				

〔特別支援学級生徒介助費〕 25,097,472円

目的	学校図書館の整備				
指標	学校図書館 図書標準達成校	目標	2校	実績	1校 (17年度 2校)
説明	学校図書について、本市は平成13年度から15年度に文部科学省の「学校図書館資源共有型モデル地域事業」の指定を受け、市内の学校図書館のネットワークシステムの整備を行いました。このシステム整備にあたり学校図書の登録管理を更新する際、使用に耐えない古い書籍等を処分したため、一時的に学校図書館図書標準に対する整備率が低下することになりました。また、平成17年度には達成していた橋北中学校にて、校舎改修を期に配架図書を見直した結果、内容が古くなった書籍を処分したため、未達成校になりました。今後も蔵書の充実に取り組んでいきます。 「学校図書館図書標準」:学級数に応じて整備すべき蔵書の標準として国が定めたもの				

〔学校図書館図書整備事業費〕 14,868,885円

### その他経費

〔教材・教具整備費〕	1,553,244円	(国庫支出金	495,000円)
〔要保護準要保護生徒就学援助費〕	49,833,178円	(国庫支出金	645,437円)
〔障害児教育就学奨励費〕	2,343,212円	(国庫支出金	705,642円)

## 目3 学校建設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
998,846,000円	998,527,542円	100.0%	0円	318,458円

### (教育施設課)

目的	学校施設の充実				
指標	(校舎増築) 整備校数	目標	建物リース1校	実績	建物リース 1校 (17年度 0校)
説明	【校舎増築】教室不足となる内部中学校について18年度から仮設校舎のリースを行っております。				

〔校舎増築事業費〕 6,720,000円

目的	学校施設環境向上				
指標	(校舎改築) 整備校数	目標	1校	実績	1校 (17年度 2校)
説明	【校舎改築】港中学校について平成17年度にPFI事業により老朽化校舎の改築工事に着手し、18年度に完成しました。				

〔PFI学校施設整備費〕	817,194,789円	〔 国庫支出金 201,700,000円 県支出金 2,496,000円 その他特財 500,000円 市債 359,200,000円 国庫支出金 7,920,000円 市債 29,300,000円 〕
〔大規模改造整備事業費〕	47,033,700円	

目的	安全安心の施設整備				
指標	整備率	目標	(バリアフリー化整備) 95%	実績	95% (17年度 86%)
説明	【バリアフリー化整備】身障者、健常者が共に学べ、円滑に学校生活を送れる環境づくりのため、身障者用トイレ設置、階段・廊下手摺の設置、出入口段差解消スロープの設置等の工事を中部中学校、富田中学校、西朝明中学校にて施工し、整備率を86%から95%にし計画どおり執行しました。				

〔バリアフリー化施設整備費〕	97,810,020円	〔 国庫支出金 17,086,000円 市債 53,700,000円 〕
----------------	-------------	---

目的	快適環境づくり				
指標	空調設備整備校数	目標	1校	実績	1校 (17年度 0校)
説明	【空調設備整備】快適な学校環境づくりを推進するため、平成18年度PFI事業による改築工事の中で港中学校の保健室へ空調設備を設置し、計画していた保健室への空調設備の設置を完了しました。				

〔PFI学校施設整備費〕	1,260,000円
--------------	------------

#### その他経費

〔その他施設整備費〕	16,744,245円
・三滝中学校雨天対策工事	7,459,200円
・塩浜中学校騒音対策工事	5,394,900円
・その他	3,890,145円
〔校舎等譲受費〕	1,457,220円
〔事業事務費〕	10,307,568円
・一般職給 1人	8,971,000円
・その他事務費	1,336,568円

#### 項4 幼稚園費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,070,272,000円	1,058,959,040円	98.9%	0円	11,312,960円

##### 目1 幼稚園費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,070,272,000円	1,058,959,040円	98.9%	0円	11,312,960円

〔一般職給〕	81人	575,366,000円
〔再任用職給〕	2人	4,308,967円
〔嘱託職給〕	17人	60,828,124円

#### (教育総務課)

〔園管理運営費〕	146,677,984円	(その他特財 92,834,746円)
・一般管理運営費(事務補助及び用務員賃金等)		

目的	私立学校の教育条件の維持向上及び経営の健全化の支援				
指標	公私立園保育料格差	目標	公私立園保育料格差の縮減	実績	76,976円 (17年度 76,758円)
説明	私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、世帯の所得状況に応じた保護者の経済的負担の軽減と、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図るため、国の支援を受け、私立幼稚園の入園料・保育料の補助を行いました。				

〔私立幼稚園就園奨励費補助金〕 160,529,600円 (国庫支出金 42,446,000円)

小学校1年生の兄・姉を持たない園児の世帯 補助対象者 2,281人

平成18年度市町村民税	年間補助限度額	補助対象者	合計
非課税世帯 (生活保護世帯を含む)	第1子 140,500円	85人	99人
	第2子 185,000円	13人	
	第3子 257,000円	1人	
所得割非課税世帯	第1子 106,500円	48人	57人
	第2子 161,000円	11人	
	第3子 250,000円	0人	
所得割課税の額が 18,600円以下の世帯	第1子 80,900円	136人	157人
	第2子 143,000円	21人	
	第3子 243,000円	0人	
所得割課税の額が 135,000円以下の世帯	第1子 56,900円	1,584人	1,762人
	第2子 126,000円	177人	
	第3子 238,000円	1人	

小学校1年生の兄・姉を持つ園児の世帯 補助対象者 206人

平成18年度市町村民税	年間補助限度額	補助対象者	合計
非課税世帯 (生活保護世帯を含む)	第2子 156,000円	11人	12人
	第3子 170,000円	1人	
所得割非課税世帯	第2子 125,000円	2人	2人
	第3子 143,000円	0人	
所得割課税の額が 18,600円以下の世帯	第2子 102,000円	19人	21人
	第3子 122,000円	2人	
所得割課税の額が 135,000円以下の世帯	第2子 80,000円	169人	171人
	第3子 103,000円	2人	

### (学校教育課)

目的	健康診断の実施				
指標	受診率	目標	100%	実績	98.9 % (17年度 99.3%)
説明	健康診断については、学校保健法に基づく心臓、検便、検尿等、毎年学校医、歯科医等の検診により、園児の健康維持、管理に努めています。18年度の受診率は98.9%となっており、今後ともほぼ100%の受診率を確保することで園児の健康維持、管理に努めます。				

〔非常勤職員報酬〕 13,310,620円  
 ・園医 23人 6,119,540円  
 ・歯科医 23人 5,751,080円  
 ・薬剤師 24人 1,440,000円  
 〔園保健衛生管理費〕 625,560円  
 ・園児健康診断費

### その他経費

〔園管理運営費〕 37,755,804円  
 ・一般管理運営費

〔その他特財 37,557,804円〕  
 〔国庫支出金 198,000円〕

〔園管理備品整備費〕	8,883,066円		
・一般備品整備費			
〔園保健衛生管理費〕	6,989,508円	（その他特財	786,701円）
・一般管理運営費（保健備品、災害共済給付金等）			
〔負担金〕	915,843円		
・学校災害賠償補償保険料等	149,563円		
・日本スポーツ振興センター共済掛金	480,260円	（その他特財	219,780円）
・全国国公立幼稚園長会等	261,735円		
・三重県学校保健会負担金	24,285円		

**（教育施設課）**

目的	教育施設の適正な維持管理・補修				
指標	緊急工事率	目標	13%以下	実績	14% (17年度 13%)
説明	施設の維持管理については、適切な維持管理補修等を十分行うことで、「緊急工事」の発生を少しでも抑えることができることから、施設の保守点検、清掃管理等を定期的に行うとともに、適切な補修改修を計画的に施工するなど施設設備の適正な維持管理整備に努めました。しかし、老朽化が進むなか、施設設備の全面更新は予算的にもなかなか困難であり、指標は17年度実績より増加する結果となり、目標を達成することができませんでした。今後、優先度等を勘案しながら予算の効率運用に心がけ、適正維持管理の執行に努めます。				

〔園管理運営費〕	28,911,680円
・施設維持管理費	6,804,265円
・施設補修費	22,107,415円
〔施設整備事業費〕	12,984,225円
・桜幼稚園園舎改修工事	10,138,800円
・その他	2,845,425円

**その他経費**

〔園管理運営費〕	872,059円	（その他特財	160,217円）
・一般管理運営費（土地使用料）			

**項5 社会教育費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,034,341,000円	1,012,495,914円	97.9%	0円	21,845,086円

**目1 社会教育総務費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
479,007,400円	471,679,108円	98.5%	0円	7,328,292円

〔一般職給〕	39人	339,758,076円	（その他特財	30,753,974円）
〔嘱託職給〕	18人	58,493,655円	（その他特財	3,485,012円）

**（社会教育課）**

目的	市民・有識者の意見反映				
指標	会議の開催回数	目標	3回	実績	4回 (17年度 4回)
説明	社会教育委員会会議を「子どもの生活リズム向上の取組みについて」等をテーマに3回開催しました。また、17年3月に策定した「子どもの読書活動推進計画」に基づき、市民を中心とした推進会議を1回開催しました。計4回となり、目標を達成しました。				

〔委員報酬〕	229,100円
・社会教育委員 10人	
〔委員報償費〕	32,900円



- ・子どもの読書活動推進計画推進会議委員 6人
- 〔社会教育指導者研修費〕 93,040円
- 社会教育委員等の研修

### その他経費

- 〔子どもの読書活動推進事業〕 388,914円
- 四日市市子どもの読書活動推進計画をもとに啓発行事等を実施
- 〔成人の日行事開催費〕 3,218,655円
- 参加者数 約2,300人
- 〔各種団体活動費〕 200,000円
- ・四日市市PTA連絡協議会運営費補助金
- 〔負担金〕 60,000円
- ・三重県社会教育委員連絡協議会

目的	文化財の保護と活用				
指標	新規指定件数 文化財説明板の更新・ 新設	目標	指定 1件 更新・新設 2件	実績	指定2件(17年度3件) 新設1件(17年度0件) 更新2件(17年度2件)
説明	重要な文化遺産を保存するため、市教育委員会所有の「槍 銘 雲林院住包智治」を県指定有形文化財(工芸品)に、「久留倍官衙遺跡」を国指定記念物(史跡)にそれぞれ申請を行い、指定されました。また、文化財説明板の新設・更新を行い、市民の文化財の学習や見学の一助としました。				

- 〔委員報酬〕 150,100円
- ・文化財保護審議会委員 12人
- 〔文化財維持管理事業費〕 5,146,850円
- ・文化財維持管理事業費 1,599,484円
- 指定文化財の管理
- ・旧四郷出張所維持管理事業費 1,121,979円
- ・天然記念物維持管理事業費 2,301,467円
- 御池沼沢、アイナシ・イヌナシ自生地の草刈、木の伐採
- ・文化財調査事業費 123,920円
- 専門委員による調査
- 〔文化財保存対策事業費〕 2,572,886円
- ・指定文化財保存事業費補助金 1,482,000円 (その他特財 327,000円)
- 「龍王山宝性寺」修理、「南楠鯨船」台車修理
- ・ふるさとの道維持管理事業 1,090,886円
- 「四郷ふるさとの道」トイレ等の管理
- 〔負担金〕
- ・全国近代化遺産活用連絡協議会負担金 20,000円

目的	埋蔵文化財の保護と活用				
指標	発掘調査面積 発掘展来場者数	目標	5,000㎡ 6,500人	実績	2,376㎡(17年度6,222㎡) 11,185人(17年度5,211人)
説明	記録保存のための緊急発掘調査1遺跡226㎡、久留倍官衙遺跡の学術発掘調査、2,150㎡を行いました。開発に伴う緊急発掘調査が少なく、当初の目標調査面積を下回りました。また、発掘調査の成果を公開するため、夏休みに市立博物館において市内出土品を展示する発掘展を開きました。				

- 〔埋蔵文化財保護事業費〕 5,189,383円 (その他特財 75,200円)
- 埋蔵文化財包蔵地内の開発と保護の調整
- 〔埋蔵文化財発掘調査受託事業〕 31,375,643円 (その他特財 31,375,643円)
- 発掘調査費
- 〔久留倍遺跡保存活用事業〕 24,528,635円
- ・北勢バイパス附帯工事業費 8,879,220円
- 基本実施設計、スロープ部分発掘調査
- ・史跡整備事業費 1,649,415円
- 基本計画策定業務委託
- ・埋蔵文化財緊急調査事業費 14,000,000円 (県支出金 9,333,000円)

## 目2 青少年教育費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
91,111,600円	89,067,769円	97.8%	0円	2,043,831円

### (社会教育課)

目的	家庭教育の向上を支援する				
指標	家庭教育講座の受講者数	目標	年間延べ 15,000人	実績	13,585人 (17年度 14,509人)
説明	青少年の健全育成には、家庭や地域の教育力の向上が重要であるため家庭教育に関する講座の開設を四日市市PTA連絡協議会及び私立幼稚園、小学校、中学校各PTAに委託し、家庭教育の啓発を推進しました。講座を実施したPTA数は増加したものの、親子参加型の講座及び年2回以上実施したPTA数が減少したため、受講者数は目標を下回りました。 (H17: 98PTA 延べ14,509人、H18: 101PTA延べ13,585人) 平成19年度は、講座を受託しなかった私立幼稚園、小学校、中学校各PTAへの働きかけを行うとともに興味、関心のある家庭教育講座のテーマ設定、参加しやすい開催日時、会場での開催を働きかけます。				

- [ 家庭教育振興事業費 ] 3,069,609円
- ・ 家庭教育講座委託事業費 1,515,000円  
 四日市市PTA連絡協議会(86単位PTA)及び15の私立幼稚園・小中学校へ委託事業として家庭教育講座を実施(年間延べ130回13,585人)
- ・ 家庭教育啓発事業費 1,554,609円  
 市民出演型の家庭教育CM「家族、大好き」をケーブルテレビで放映(年間延べ52本1,092回)

目的	地域の青少年育成活動を促進する				
指標	子ども会児童加入率	目標	80%以上	実績	75.8% (17年度 77.5%)
説明	子どもたちが異年齢集団による遊びや体験活動を通じて社会性、協調性が養われるよう子ども会育成者連絡協議会に対し、子ども会の意義の再認識、魅力ある活動づくりなど活性化を図るよう支援を行いました。少子化及び子ども会・育成会離れが進み、加入率は、年々減少傾向にあります。引き続き活性化を図るよう支援を行っていきます。また、子どもの体験活動を実践している市民団体等が企画・運営する体験活動に対してその経費の一部を助成し、青少年の集団活動や体験活動を支援しました。				

- [ 青少年健全育成事業費 ] 6,886,347円
- ・ 青少年体験活動促進事業 858,649円  
 青少年を対象として市民団体等が企画・実施する青少年体験活動を募集し、その経費の一部を助成するとともに、青少年体験活動フェスティバルを開催(助成団体 6団体:参加者数延べ784人)
- ・ 青年リーダー研修費 558,978円  
 子ども会や地域の活動における、年少者リーダーとなる青少年(小学5年生から高校生)を募集し、ジュニアリーダー等養成講習会を開催しました。(開催日数9日:参加者数50人)
- ・ 子ども広場整備事業費補助金 5,067,620円  
 民間の団体または有志者が設置する子ども広場の整備事業に対してその経費の一部を補助しました。(増設3箇所、補修30箇所)(市内現計209カ所)
- ・ 子ども緊急避難所設置推進事業費 401,100円  
 「こどもをまもるいえ」の設置を推進(市内33団体11,463カ所)  
 「子ども110番みまもりたい」活動の推進(協力車両数848台)

#### [ 補助金 ]

- ・ 四日市市子ども会育成者連絡協議会運営費補助金 1,500,000円
- ・ 四日市市青少年育成市民会議運営費補助金 1,000,000円
- ・ 青少年団体運営費補助金 100,000円  
 ボーイスカウト・ガールスカウト四日市地区協議会 50,000円  
 四日市海洋少年団 50,000円

目的	青少年の非行防止を支援する				
指標	補導員による街頭補導実施回数	目標	年間延べ 480回以上	実績	年間延べ 424回 (17年度 年間延べ436回)
説明	中央補導員、三四地区広域補導員を中心に、ライオンズクラブ、警察等と協働して繁華街・駅・公園・ゲーム場など青少年が多く集まる場所を巡回して、指導・助言を行うことを主な内容とした街頭補導活動を行いました。補導体制の見直しを行ったため、実施回数は目標を下回りました。 補導した少年は、前年度と比較して大幅に減少しましたが、小中学生の補導件数が横ばい状態であり、非行の低年齢化が懸念されることから、学校・幼稚園での非行防止教室（万引き防止教室）を開催（延べ47回）し、青少年の非行防止に努めました。				

〔委員報酬〕	110,600円
・青少年問題協議会委員 7人（年2回開催）	
〔青少年相談事業費〕	420,910円
・青少年相談員研修費	
〔青少年健全育成事業費〕	2,934,775円
・子どもと若者の居場所づくり事業費 勤労青少年ホームにおいて、毎週土・日曜日に開所（利用者数延べ1,883人）	
〔補導員報償費〕	1,242,000円
〔補導団体等運営費補助金〕	186,000円
・中央補導員協議会	100,000円
・地区補導代表者会	70,000円
・BBS会	16,000円

#### 青少年の補導状況

	補導少年延人数					相談回数		
	小学生	中学生	高校生	その他	計	面接	電話	計
H17	69人 (16.1%)	54人 (12.6%)	212人 (49.5%)	93人 (21.8%)	428人 (100%)	13回	93回	106回
H18	62人 (21.8%)	63人 (22.2%)	129人 (45.4%)	30人 (10.6%)	284人 (100%)	15回	58回	73回

目的	留守家庭児童の保育活動を支援する				
指標	学童保育所の利用児童数	目標	25箇所 827人/月	実績	25箇所 814人/月 (17年度 24箇所 709人/月)
説明	保護者の就労等により、放課後及び学校休業日の昼間に留守家庭となる児童の保育、健全育成を目的に運営委員会が設置・運営する学童保育所に対して、その経費の一部補助等を行いました。 平成18年度は、新たに八郷西学童保育所が開所され、また、常磐西学童保育所では、建築費補助を活用し学童保育所を新築しました。				

〔青少年健全育成事業費〕	67,968,455円	（県支出金 36,880,000円）
・学童保育事業費補助金		
海蔵・笹川・日永・桜・常磐・常磐西・内部・高花平・内部東・四郷・川島・下野・県・富洲原 浜田・大矢知・泊山・富田・三重・河原田・三重西・楠・中部西・塩浜・八郷西		計25力所

#### その他経費

〔青少年一般経費〕	3,352,798円
〔環境浄化標語看板製作委託〕	121,275円
〔負担金〕	175,000円
・三四地区広域補導協議会	160,000円
・三重県青少年補導センター連絡協議会	15,000円

### 目3 公民館費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
36,404,000円	34,992,883円	96.1%	0円	1,411,117円

#### (市民文化課)

目的	市民が主体的にまちづくりに参画するために必要な生涯学習活動を支援する				
指標	施設利用数 (地区市民センター)	目標	30,000回	実績	30,213回 (17年度 29,717回)
説明	23地区市民センターにおいて、地域社会づくりの拠点として、地域課題に即した公民館講座を地域団体の協力を得ながら実施しました。公民館業務が市長部局へ一本化後、2年目となり、全地区に地域マネージャーが配置されたことにより、より地域に密着した事業が展開されました。人形劇公演については、平成19年度から保育園・幼稚園の事業として行うものと、センター事業として行うものを整理し、センター事業については一括契約することとしました。貸館については、受益者負担の観点からの減免規定見直し後3年目となり、利用者の理解を得られるようになり、利用回数も前年度比101.7%と増加しました。平成19年4月から、使用許可受付についてさらに見直しを行い、より市民が利用しやすい地区市民センターを目指します。				

〔生涯学習振興事業費〕

6,252,434円

〔公民館一般経費〕

1,659,917円

#### 地区市民センター事業活動状況

##### 講座実施状況

講座対象	講座回数	参加人数
青少年	60	1,494
女性	21	413
成人	121	2,101
高齢者	57	2,304
リーダー研修	5	160
全住民	450	7,559
スポーツ・レクリエーション	42	10,203
家庭教育	146	6,882
小計	902	31,116

##### 施設利用状況

活動内容	回数	参加人数
地区市民センター主催事業(講座)	787	15,527
サークル活動	20,163	224,757
地域づくり活動等	9,263	205,623
合計	30,213	445,907

地域づくり活動とは  
地域社会づくり委員会、自治会、社協  
同推協、青少協、婦人会、老人会  
民生委員会などの活動、その他

#### その他経費

〔負担金〕

322,100円

・三重県公民館連絡協議会等

#### (社会教育課)

目的	地域の社会教育活動への支援				
指標	年間利用回数	目標	現状維持	実績	3,911回 (17年度 3,957回)
説明	住民の学習活動、地域活動を推進するため、学校施設の教室開放を行いました。平成17年度より利用回数は若干減りましたが、概ね昨年度並であり、PTAを除いた利用に限ればむしろ増えており、地域の活動が推進されました。				

〔学校開放事業費〕

1,260,000円 (その他特財 265,200円)

**(楠プラザ)**

目的	市民が主体となる生涯学習活動を支援する。				
指標	楠プラザに関わる事業の総参加者数	目標	28,900人 (内訳) 運動会 3,000人 文化祭 2,500人 公民館フェスティバル 300人 図書貸出利用者 18,100人 資料館来館者 5,000人	実績	32,126人 (内訳) 運動会 3,000人 文化祭 2,600人 公民館フェスティバル 300人 図書貸出利用者 20,996人 資料館来館者 5,230人 (17年度 31,666人)
説明	<p>公民館は生涯学習の拠点施設として、市民自ら学ぶ力を育む学習活動や、趣味・文化活動を継続して行えるように、各年齢層に対応した講座を開催し、生涯学習活動への支援を行いました。</p> <p>図書室は、本に慣れ親しむ環境づくりや市民のニーズに対応した図書収集を図るとともに、図書室だよりの発行などPR活動への取り組みにより利用者の増大が図られました。これらの取組みの結果として、生涯学習への意識が高まり、図書貸出利用者については、目標を上回ることができました。今後も引き続き生涯学習意識の高揚に努めます。</p>				

- 〔楠公民館事業費〕 959,856円 (その他特財 597,195円)  
公民館フェスティバル、市民の年齢層に応じた多様な講座の開催や文化祭等への支援
- 〔楠公民館図書室事業費〕 2,551,779円
- 〔楠公民館管理運営費〕 6,989,297円 (その他特財 29,000円)
- 〔楠公民館一般経費〕 9,660,350円
- 〔楠公民館整備事業費〕 5,337,150円  
バリアフリー整備工事等

図書室利用状況

	貸出利用者数	貸出冊数	読み聞かせ等開催回数	参加者数
平成17年度	19,511人	86,752冊	57回	1,303人
平成18年度	20,996人	98,370冊	63回	1,553人

**目4 図書館費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
176,816,000円	171,748,184円	97.1%	0円	5,067,816円

**(図書館)**

目的	市民の多様な学習要望に応じ、使い易く居心地の良い図書館を目指す				
指標	蔵書数	目標	410,000冊以上	実績	404,639冊 (17年度397,586冊)
	図書館利用者数 (本館入館者数)		290,000人以上		270,320人 (17年度276,975人)
	貸出冊数		856,000冊以上		873,686冊 (17年度854,792冊)
説明	<p>蔵書数は目標値に至りませんでした。今後とも目標値に達するよう努力します。また、読みたい本をインターネットで検索して予約し、市立図書館・あさけプラザ図書館・楠公民館図書室のいずれでも本を受け取り返却もできるように物流システムを整備したことから、好評を得ています。加えて自動車文庫でも3館(室)の返却を受けています。</p> <p>パソコンの普及により必要な情報を手に入れる手段としてインターネットを利用する機会が増えてきたにもかかわらず、調べ物の支援を行う図書館の調査相談(レファレンスサービス)の利用者は増加しました。今後、調査相談(レファレンスサービス)の充実と利用のPR,メールによるレファレンス実施を行い、時代に沿ったサービスの展開を行っていきます。また、多様化する市民ニーズにあわせた蔵書構成に努めます。なお、今後も子どもの読書活動推進等のため、職員やボランティアによるお話会や読み聞かせを充実していきます。</p>				

〔図書館維持管理費〕	45,186,143円	(その他特財	333,951円)
図書館施設管理委託			
〔図書館施設整備事業費〕	33,967,451円	(国庫補助金	4,956,000円)
		市債	9,400,000円)
受電設備更新工事、アスベスト除去工事、閲覧用机、カウンター等の購入費			
〔図書資料整備費〕	28,085,421円		
〔人権啓発拠点事業推進事業費〕	653,097円		
図書館資料の購入費			
〔図書館運営費〕	11,669,266円		
点字録音資料作成委託、各種講座の実施等			
〔図書管理システム運営費〕	34,513,624円		
図書館情報システム構成機器等借上げ及び保守委託			
〔移動図書館運転業務委託事業費〕	6,716,418円		
移動図書館車運転業務の委託等			
〔図書館運営業務整備事業〕	10,711,464円		
図書貸出等業務委託、自動貸出機借上げ・移動式書架借上げ			

#### その他経費

負担金・委員報酬	245,300円
----------	----------

#### 図書資料状況

図書区分	17年度末蔵書冊数	受入冊数	払出冊数	18年度末蔵書冊数
本館成人図書	253,284	10,497	6,356	257,425
本館児童図書	70,268	3,091	2,577	70,782
本館雑誌	18,536	2,858	2,416	18,978
点字資料	1,474	21	185	1,310
録音資料	3,124	59	62	3,121
外国語図書	1,315	2,959	778	3,496
計	348,001	19,485	12,374	355,112
自動車文庫図書	48,991	2,269	2,219	49,041
自動車文庫雑誌	594	83	191	486
計	49,585	2,352	2,410	49,527
合計	397,586	21,837	14,784	404,639

#### 利用状況

	開館日数	利用者数	登録者数	貸出者数	貸出冊数	相談件数
平成17年度	274	276,975	101,788	164,495	854,792	4,827
平成18年度	273	270,320	63,441	170,421	873,686	5,194

平成18年度から5年間利用実績のない登録者を統計上除いた。

#### 目5 少年自然の家費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
54,851,000円	54,449,978円	99.3%	0円	401,022円

(少年自然の家)

目的	青少年に野外活動を中心とした活動プログラムの提供や指導及び活動の場を提供する				
指標	利用団体数	目標	335団体 22,800名	実績	324団体 (17年度330 団体) 23,730名 (17年度 22,745名)
説明	<p>より多くの市民に少年自然の家で自然体験活動を行ってもらえるように、広報活動の幅を広げたことや、水沢市民広場の団体利用が増えたことにより、利用者数を伸ばすことができました。</p> <p>受け入れ事業では、「ふれあいの森」など少年自然の家の施設を利用した自然体験活動をより多く取り入れて、感動する心、自然と共生する心、自主性や協調性などを育成していただくために、新たなプログラム開発を進めました。</p> <p>主催事業では、これまでの事業を充実させるとともに、市立博物館や民間の団体、地元地域との連携を図ることで、新たな事業を企画し、それぞれの持ち味を活かしたプログラムを提供することができました。</p> <p>施設整備においては、分館機械室のアスベスト撤去工事等を行ったほか、利用者が安全かつ快適に過ごせるように、施設内外の維持管理・運営に努めました。</p>				

〔主催事業費〕 954,775円

小・中学生を対象とした事業 10回

アドベンチャースクール	小学5～6年生	66人	5/20～21	登山、パラグライダー体験等
わくわくキッズチャレンジ	小学4年生	86人	7/1～2	野外炊事、キャンプファイア等
ワイルドキャンプ	小学6～中学生	57人	8/8～11	野営、野外炊事等
ゴリラ山チャレンジスクール	小学4～5年生	84人	10/21～22	登山、キャンプファイア等
ウインターフェスタ	小学4～6年生	77人	12/9～10	冬の森探検、野外炊事等
スペースキャンプ	小学5～中学生	48人	12/23～24	プラネタリウム、ネイチャークラフト等
子ども自然塾	小学4～6年生	30人	4/15 日曜日	春の植物観察、野草天ぷら
子ども自然塾	小学4～6年生	23人	7/21 日曜日	自然観察方法
子ども自然塾	小学4～6年生	30人	7/23 日曜日	ドングリの観察
子ども自然塾	小学4～6年生	22人	1/13 日曜日	冬の森観察

家族・グループを対象とした事業 4回

「森の中でテント泊」	市内在住家族	70人	6/10～11	野外炊事、ネイチャークラフト等
「秋と遊ぼう」	市内在住家族	49人	11/26 日曜日	落ち葉や木の実観察
「冬の森とおもちつき」	市内在住家族	69人	1/20～21	冬の森観察、もちつき等
「森でクラフト」	市内在住家族	54人	3/25 日曜日	ネイチャークラフト

教職員・一般を対象とした事業 3回

アウトドアセミナー	教職員,市民	32人	8/23 日曜日	沢登り
アウトドアセミナー	教職員,市民	29人	8/24 日曜日	野外炊事、天文教室
自然教室合同下見会	教職員	5人	9/30	登山指導

その他 6回

水沢ふるさとウォーク	家族・市民	85人	10/2 日曜日	水沢歴史探訪ハイキング
自然の家里山クラブ	小学4～市民	80人	11/18,12/17,1/27	里山保全活動
春の里山まつり	家族・市民	158人	4/22 日曜日	山菜天ぷら、ネイチャークラフト

〔受け入れ事業費〕

47,693,628円

・施設管理運営費 35,560,122円 (その他特財16,172,919円)

清掃・保守点検費 12,660,270円

その他諸費(光熱水費・燃料費等) 17,361,651円

リネン・寝具関係費 5,538,201円

・施設整備事業費 12,046,606円

(国庫支出金 1,025,000円  
市債 1,900,000円)

分館屋上北西部の防水工事、分館機械室のアスベスト撤去工事等

・委員報酬 86,900円

運営協議会委員10名

## 利用状況

施設 年度	自然の家		キャンプ場		市民広場		合 計		利用者内訳	
	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	市 内	市 外
14	189	15,192	44	2,446			233	17,638	14,344	3,294
15	202	16,903	32	1,745			234	18,648	14,331	4,317
16	219	18,744	41	1,905	28	2,717	288	23,366	16,953	6,413
17	213	16,881	42	2,190	75	3,674	330	22,745	19,045	3,700
18	190	16,000	42	2,170	94	5,560	324	23,730	18,575	5,155

平成16年度から、キャンプ場と水沢市民広場（利用申請の数）の利用を区分。

〔環境整備費〕	4,469,383円
・水沢市民広場管理運営費	1,615,900円
・施設管理運営費	2,853,483円
臨時職員賃金	2,454,483円
下草刈委託業務費	399,000円
ふれあいの森で利用者が観察や自然体験活動を安全にできるよう、枯れ松の処理や下草刈り・観察路の整備等を実施しました。	
〔活動支援費〕	1,134,897円
・施設管理運営費	
臨時職員賃金	1,072,002円
器具修繕費	62,895円
〔広報活動費〕	197,295円
市内小・中学校、児童生徒への主催事業案内チラシ配付や市の広報への記事掲載、少年自然の家利用案内ポスターの配布、ホームページの更新等、広報活動を行いました。	

## 目6 博物館費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
196,151,000円	190,557,992円	97.1%	0円	5,593,008円

### （博物館）

目的	郷土の歴史や自然に対する知識や理解を深め、郷土を大切にする心や科学する心を育み、よりよいまちづくりや未来を考える場を提供する				
指標	利用者数	目標	106,000人	実績	117,439人 (17年度 108,752人)
	観覧者満足度 (アンケート)		80%		71% (17年度 74%)
説明	<p>より多くの市民に郷土の歴史についての理解を深めてもらうため、12月に常設展示の観覧料をすべて無料にしました。さらに、次代を担う子ども達にすぐれた文化に接する機会を増やすため、特別展示の小中学生観覧料を無料にしました。また、丹羽文雄記念室を開設し、常設展示の充実を図りました。事業内容については、より多くの市民に利用してもらえるよう、様々な層のニーズに応える多様な分野を取り上げて展覧会やプラネタリウム投映などを実施するとともに、教育普及事業や貸館事業などの充実を図って利用者数の増加に努めました。その結果、利用者数は、前年度を8,687人上回り、目標を達成することができました。</p> <p>展覧会については、夏休みの昆虫展を中心に観覧者数を伸ばしましたが、観覧者の満足度は、目標を達成することはできませんでした。市民の実際生活に即する文化的教養を高め得るような内容を、わかりやすく興味を引くような形で表わす企画の立案が課題です。</p> <p>プラネタリウムの観覧者数については、開館以来最高を記録した平成17年度よりは減少したものの、新企画のアロマの番組や観覧者参加型番組が好評で、開館以来3番目の実績となりました。</p> <p>当館では学校教育への支援を積極的に行っており、特に天文事業については、従来の学校からの団体見学に加えて、移動式プラネタリウムによる中学校への出前授業や立体映像システムによる小学校への出前授業を行い、学校での授業がより豊かなものとなるとともに、近年の理科離れ対策となるよう努めました。</p> <p>今後も学校教育及び社会教育の学習支援機関として、より多くの市民に寄与し、資料を収集・保存する博物館の基本的な活動に加えて、市民とともに資料を探求し、知の楽しみを分かち合う博物館文化の創造に努めます。</p>				



〔自主事業費〕 73,110,992円  
 ・調査研究事業費 1,216,411円  
 ・特別展等開催費 45,990,119円 (その他特財 16,380,380円)

展覧会  
特別展

展覧会名	実績額	期間	観覧者数
追悼 丹羽文雄	6,031,999	4/23～6/4	2,784
虫・ムシ大集合!	9,077,314	7/15～9/3	14,158
2006イタリア・ポローニャ国際絵本原画展	9,054,770	9/30～10/29	7,036
浮世絵に描かれた四日市	6,977,653	11/7～12/10	2,766
正倉院 その源流を訪ねて	11,770,874	1/27～3/11	6,354
合計	42,912,610円	189日	33,098人

その他事業 3,077,509円  
 常設展 開館日数 297日 観覧者数 30,978人

- ・資料収集保存事業費 10,755,828円
  - 購入資料 3,611,765円
    - 歴史資料 44点 1,131,765円
    - 美術工芸資料 6点 2,480,000円
  - <主な購入資料>
    - 赤絵双鳳凰文阿蘭陀文字八角鉢(古萬古) 660,000円
    - 青釉猪口十客(古萬古) 649,950円
  - くん蒸作業 2,483,250円  
 (収蔵庫及び展示室のくん蒸、機器の保守点検)
- ・教育普及活動事業費 1,073,519円 (その他特財 106,000円)  
 講座等実施状況

講座名等	回数	参加者数
ミュージアムセミナー	4	186
子ども博物館教室	19	446
その他	9	182
合計	32回	814人

博物館ボランティア 登録者数 80人  
 学習支援ボランティア 登録者数 11人  
 古文書ボランティア 登録者数 25人

- ・プラネタリウム投映事業費 12,972,022円 (その他特財 7,020,330円)  
 プラネタリウム  
 季節番組

番組名	実績額	期間	観覧者数
俳句と星	30,480 (585,159)	4/1～5/28 (2/3～)	531 (991)
おじゃる丸	12,000 (3,502,979)		1,725 (4,051)
ムーン・ミステリー	398,518	6/3～9/24	3,642
銀河鉄道999	2,802,718		8,001
宇宙へ行こう!	256,390	9/30～1/28	1,299
星の王子さま	2,829,512		2,806
なんてん物語	323,809 (335,809)	2/3～3/31 (～5/27)	569 (1,161)
忍たま乱太郎	3,270,569 (3,282,569)		2,221 (4,218)
星座神話	279,299	4/1～3/31	1,687
合計	10,203,295円	276日	22,481人

( )内は前年度分又は後年度分を含む。

特別番組

番組名	実績額	回数	観覧者数
宇宙塾	278,130	5	359
生演奏コンサート	452,520	4	520
CDコンサート	10,500	4	472
アロマと星の旅	168,282	23	342
合計	909,432円	36回	1,693人

学習投映番組 投映回数 132回 観覧者数 10,528人(196校園)  
 その他投映等 1,859,295円 観覧者数 562人

天文教育普及活動事業実施状況

事業名	回数	参加者数
子ども天文教室	5	183
小・中学校出前授業	26	2,751
その他	11	954
合計	42回	3,888人

・天文教育普及活動事業費 1,103,093円  
 きらら号 出動回数 42回 参加者 4,229人  
 天文ボランティア 登録者数 52人

〔施設管理運営費〕 117,177,400円  
 ・施設設備維持管理費 62,290,376円  
 主な経費  
 清掃警備業務委託 25,717,125円  
 設備管理業務委託 19,467,000円  
 ・運営事業費 41,935,922円 (その他特財 4,456,221円)  
 案内等業務委託 12,136,320円  
 ・展示設備維持管理費 2,528,463円  
 ・プラネタリウム維持管理費 9,969,435円  
 主な経費  
 プラネタリウム機器保守点検委託 7,770,000円  
 ・移動天文車維持管理費 453,204円

その他経費

〔委員報酬〕  
 ・博物館協議会 20人 189,600円  
 〔負担金〕  
 ・日本博物館協会等 80,000円

## 項6 保健体育費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
763,270,000円	757,576,692円	99.3%	0円	5,693,308円

### 目1 保健体育総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
96,550,000円	96,382,221円	99.8%	0円	167,779円

〔一般職給〕	10人	86,335,074円
〔再任用職給〕	1人	3,362,603円
〔嘱託職給〕	2人	6,457,454円

#### (スポーツ課)

##### その他経費

〔委員報酬〕		63,200円
・スポーツ振興審議会委員	13人	
〔一般経費〕		163,890円
・旅費		

### 目2 体育振興費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
58,858,000円	56,243,595円	95.6%	0円	2,614,405円

#### (スポーツ課)

目的	生涯スポーツの普及・振興				
指標	教室・大会等への参加者数	目標	18,500人/年	実績	17,700人/年 (17年度 17,751人) 1人当たりコスト 3,178円 (17年度 3,626円)
説明	<p>各種スポーツ大会や講習会の開催、地域スポーツ活動の場としての学校体育施設の開放、スポーツ団体等の育成を図るための運営費補助等を行い、生涯スポーツの普及・振興に努めました。</p> <p>また、三重地区及び橋北地区において総合型地域スポーツクラブの活動が始まりました。その後、浜田地区、四郷地区、内部地区と設立に向け、地元と調整を行っていきます。</p> <p>目標値については到達しておりません。原因としては、少年団員数の減少等の影響もあるかと思われます。今後については、総合型地域スポーツクラブ等の地域スポーツの運営を支援する中で、潜在的なスポーツ人口の掘り起こしに努めます。</p>				

〔スポーツ活動振興事業費〕	13,671,191円
・総合型地域スポーツクラブ育成事業費	6,275,100円
(平成17年度保々地区、平成18年度三重地区及び橋北地区に設立済)	
(少年スポーツ・地域スポーツの振興を図る)	
・地域スポーツ活動振興事業費	2,889,932円 (その他特財 313,600円)
・市民スポーツフェスタ開催事業費	1,467,292円
・少年スポーツ活動振興事業費	2,439,162円
・スポーツ功労者表彰経費	599,705円
〔学校開放事業費〕	12,657,588円 (その他特財 6,223,420円)

〔補助金〕	19,766,400円
（各種スポーツ団体の育成を図る）	
・四日市市体育協会	4,644,000円
・三重県中学校体育連盟三泗支部	3,488,000円
・四日市市レクリエーション協会	450,000円
・四日市市スポーツ少年団	630,000円
・四日市市体育指導委員連絡協議会	270,000円
・シティロードレース大会実行委員会	300,000円
・全国大会等開催費	225,000円
・全国大会等出場選手激励金等（849人）	9,759,400円
（国際・全国スポーツ大会参加選手を支援するための激励金）	

#### その他経費

〔体育指導委員経費〕	4,858,041円
〔負担金〕	3,488,862円
・三重県体育協会等	
〔体育振興一般経費〕	1,801,513円

### 目3 体育施設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
525,720,000円	523,032,535円	99.5%	0円	2,687,465円

#### （スポーツ課）

目的	スポーツ施設及びスポーツ環境の整備				
指標	スポーツ施設稼働率	目標	52%	実績	51% (17年度 48%) 1人当たりコスト 476円 (17年度1304円)
説明	中央緑地運動施設など26施設を指定管理者四日市市体育協会・四日市市シルバー人材センターグループに管理を委託し、市民サービスの向上と管理コストの縮減を図りました。また、利用者の安全確保等のため、陸上競技場耐震補強工事を実施したほか、市民が快適かつ安全に運動施設を利用できるよう、日常の維持管理に努めました。稼働率については若干目標を下回りましたが、モニタリング等を実施し、より利用しやすい施設となるように指定管理者への指導、調整等の強化を図ります。				

〔運動施設管理運営費〕	222,715,894円	（その他特財 7,384,122円）
・一般経費（施設管理委託料、光熱水費等）		
〔運動施設整備事業費〕	20,854,050円	
・中央緑地運動施設	17,861,550円	（地方債 15,200,000円）
中央緑地陸上競技場耐震補強工事		
・その他運動施設整備事業費	2,992,500円	
〔補助金〕		
・地区運動広場整備事業	337,650円	
〔負担金〕		
・三重県体育施設協会	15,000円	

(楠プラザ)

その他経費

〔一般経費〕	18,407,646円	(その他特財	5,436,050円)
・楠プラザ運動施設一般経費			
〔運動施設整備事業費〕	260,702,295円	(市債	188,600,000円)
・楠緑地体育館改修工事	258,961,500円		
・緑地体育館における漏水等の改修工事を行い、生涯学習活動を支援しました。			
・その他関連工事	638,295円		
・監理業務委託料	1,102,500円		

目4 四日市ドーム費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
82,142,000円	81,918,341円	99.7%	0円	223,659円

(スポーツ課)

目的	スポーツ施設及びスポーツ環境の整備				
指標	スポーツ施設稼働率	目標	100%	実績	100% (17年度 100%) 1人当たりコスト 515円 (17年度 552円)
説明	市民サービスと利用率向上のため、インターネットでの広報活動等を行い、ドーム利用の促進に努めました。四日市ドームの稼働率については、目標を達成できましたが、平成19年度から指定管理者化を図り、民間手法を取り入れたドーム運営の促進に努めます。				

〔自主事業費〕	233,990円		
〔施設管理運営費〕	81,184,351円	(その他特財	42,697,201円)
〔補助金〕	500,000円		
・イベント開催費			

四日市ドーム利用状況

開館日数(A)	利用日数(B)	利用人数	利用率(B/A×100)	使用料収入		
306日	306日	159,010人	100%(H17 100%)	34,681,250円		
アマチュアスポーツ		その他の催し物			一般公開	合計
入場料無	入場料有	式典・講演会	展示・見本市	プロ興行		
336件	3件	4件	5件	0件	29件	377件